

佐藤寿三郎の議員活動詳報版

ことぶき月報 (No.282) 2022年3月号

— ご意見・ご要望をお寄せください —

【須坂市議会令和4年3月定例会の顛末について】

1. 【私の議会内議員活動】

令和4年3月定例議会は、2月22日招集され開会いたしました。

上程された議案は、事件決議1件、条例16件、補正予算8件、当初予算8件、人事1件でした。

今議会の会期日程は、2月22日から3月18日までの25日間でした。

(1) 2022年度(令和4年)会計歳入歳出予算総括表

年度 区分 会計別		2022年度		比較	
		当初予算額 千円	構成比 %	前年比較 千円	伸率 %
一般会計		249億3,000万0千	59.96	△1億	△0.40
特別会計	国民健康保険	49億9,199万8千	12.01	△1億2,206万	△2.39
	井上・幸高・九反田・中島財産区	810万6千	0.02	30万5	3.91
	介護保険	46億6,771万2千	11.23	9,317万6	2.04
	後期高齢者医療	7億4,050万3千	1.78	2,766万4	3.88
	小計	104億0831万9千	25.03	△91万5	△0.01
企業会計	水道事業	23億9,628万0千	5.76	2億73万2	9.14
	下水道事業	38億3,324万4千	9.22	△6,962万9	△1.78
	宅地造成事業	998万4千	0.02	△390万0	△28.09
	小計	62億3,950万8千	15.01	1億2,720万3	2.08
合計		415億7,782万7千	100.00	2,628万8	0.06

(2) 令和4年一般会計当初予算で小職が注目した事業について。(単位は万円)

2022年度の重点施策事業から		
事業名・主な内容	当初予算額	担当課
◎新型コロナウイルスワクチン接種事業	2億1,349万	健康づくり課
◇新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援	294万	福祉課
☆機能別消防団員の策定	394万	消防本部
☆地域公共交通計画の策定	900万	市民課
・地域生活相談支援事業委託	1,396万	福祉課
☆オンライン手続推進事業	1,674万	政策推進課

◎インター周辺開発事業に伴う道路整備	5億4,060万	道路河川課
◎インター周辺開発事業に伴う道路整備（繰越）	17億6,754万	道路河川課
☆子育て就労総合支援センターの施設整備外	1億200万	子ども課
☆小中学校適正規模検討委員会の開催	62万	学校教育課
◎信州須坂まちの元気創出推進事業	1億4,000万	文化スポーツ課
2022年度基本目標1～7のうちの事業から		
事業名・主な内容	当初予算額	担当課
・男女共同参画いきいきフォーラムの開催	13万	人権・男女共同
◎障害児通所給付費	1億	福祉課
◎心身障害児（者）通園費等補助金	460万	福祉課
◎法定予防接種の実施	1億8,737万	健康づくり課
・妊婦健康診査の公費負担	4,100万	健康づくり課
・産後ケア事業	259万	健康づくり課
・スクールカウンセラー等の配置	430万	学校教育課
・ICT支援員の配置	1,948万	学校教育課
・すこやか相談事業	766万	子ども課
・成人式インターネット同時配信	37万	生涯学習推進課
☆竜ヶ池周遊路等整備工事	1,500万	まちづくり課
☆松川霊園駐車場整備工事	472万	生活環境課
☆消防団機械器具置場建設工事	793万	消防本部
・指定避難場所標識設置工事	145万	総務課
・公共交通（すざか市民バス等）確保事業負担金	7280万	市民課
・舗装長寿命化修繕工事	1億7,500万	道路河川課
・道路新設改良工事	9億481万	道路河川課
・大規模盛土変動予測調査（繰越）	1,464万	まちづくり課
☆農業用揚水機場の更新事業	3,646万	農林課
◎遊休農地解消対策事業補助金	350万	農林課
◎観光誘客案内業務委託	4,760万	商業観光課
◎中心市街地活性化事業	851万	商業観光課
・峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助	1億8,100万	商業観光課
・米子大瀑布整備工事	1,241万	商業観光課
☆A I議事録作成システム導入事業	28万	政策推進課
・公会堂建設補助金	1,490万	市民課
・結婚新生活支援事業補助金	450万	政策推進課

☆新規 ◎拡大 ◇重要な継続 ・継続事業

(3) 2022年（令和4年度）3月市議会補正予算概要一覧

○一般会計（補正予算第11号）	19億2,007万6千円
○国民健康保険特別会計（補正予算第4号）	△1億6,749万3千円
○井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計（補正第2号）	135万5千円
○介護保険特別会計（補正予算第3号）	△7,594万2千円
○後期高齢者医療特別会計（補正予算第2号）	862万5千円
○水道事業会計（補正予算第2号）	収益的収入 △210万5千円

収益的支出 △4,257 万 9 千円
 資本的収入 583 万 6 千円
 資本的支出 △3,000 万 0 千円

○下水道事業会計（補正予算第 2 号）
 収益的収入 5,895 万 5 千円
 収益的支出 △ 221 万 4 千円
 資本的収入 △1 億 3,022 万 2 千円
 資本的支出 △201 万 0 千円

○宅地造成事業会計（補正予算第 1 号）
 収益的収入 △548 万 7 千円
 収益的支出 △67 万 2 千円

○令和 4 年 3 月定例会一般会計補正予算第 11 号の主だった内容について。

200 万円以上を表示（△は減額、単位は千円）

事業名・主な内容と理由	補正額	担当課
国民健康保険事業 決算見込みに伴う精査	△1,302 万 1	健康づくり課
支援サービス事業 今後の見込みによる精査	2,951 万 3	福祉課
児童センター等指定管理事業 分散登校対応	341 万 6	学校教育課
児童クラブ運営事業 分散登校対応	487 万 0	学校教育課
私立保育所運営助成事業 保育士の処遇改善	861 万 7	子ども課
児童手当等支給事業 今後の見込みによる精査	△5,100 万 5	子ども課
就学援助事業 今後の見込みによる精査	△1,078 万 9	学校教育課
学校保健事業 感染症対策を支援	1,971 万 6	学校教育課
文化施設整備事業 人形博物館工事費減額	△225 万 5	文化スポーツ課
体育施設整備事業 北部運動広場人工芝工事費減額	△254 万 8	文化スポーツ課
豊丘ダム堰堤改良事業 事業費の減による	△1,713 万 0	道路河川課
道路改良事業 インター周辺道路整備事業（22 年当初予算の前倒し）	9 億 4,252 万 8	道路河川課
インター周辺水路側溝整備の測量委託料 精査	△645 万 2	道路河川課
県の道路新設改良費 負担金の精査	223 万 5	道路河川課
河川管理事業 今後の見込みによる精査	△500 万 0	道路河川課
宅地耐震化推進事業 地質調査の執行	1,464 万 1	まちづくり課
動物園管理運営事業 今後の見込みによる増額	265 万 4	まちづくり課
県営農業用管水路等事業費確定に伴う精査	△473 万 0	農林課
認定農業者のハウス整備等の助成	2,197 万 0	農林課
転落防止安全対策事業の施工範囲確定による	△796 万 5	道路河川課
仁礼地区農業用水路の事業費の精査	△6,272 万 0	道路河川課
県営野下原ため池 2 号耐震改修工事費の確定	1,998 万 2	道路河川課
信州須坂ふるさと応援寄附金関連経費	5 億 9,972 万 9	政策推進課
戸籍住民基本台帳整備事業のシステム改修費	458 万 7	市民課
臨時財政対策債償還基金相当額の減債基金積立金	7 億 0,936 万 2	財政課
職員人件費の今後の見込みによる精査	△653 万 0	総務課外

(4) 今議会の予算決算特別委員会での市長部局の答弁の手控え抜粋

1) 総務文教分科会関係

【消防本部・消防署関係】

- 第2分団1部は、本上町、常磐町、上中町、中町ですが、現在、明け渡し請求を受けている本上町詰所以外に適当な移転場所が見つからなかった。

今回の候補地は、駐車場もあって防災広場にも隣接しており、団員が自宅から自動車で駆けつけることから、活動し易いとの評価を得ている。

【学校教育課関係】

- 小学校と中学校国際化教育推進事業のオンライン国際交流サポート委託事業は、小学5年生では3学期にクラス全員で英語を使いオンラインで海外の方とやり取りをして学習の成果を試すとともに英語学習への意欲を高めます。

中学生では、長期休み等に希望者等を募ってオンラインで海外在住の方との交流を行い、学習意欲や海外への興味を高める機会とします。

【子ども課関係】

- 子育て就労総合支援センターの雇用予定については、就労支援・市民交流施設では常時3名を配置するため、正規2名、契約スタッフ2名、パート4名。

子育て支援センターは、所長は市から派遣し、契約スタッフ2名。パート3名で計6名の予定。

2) 経済建設分科会関係

【産業振興開発課関係】

- UIJ ターン就業・創業移住支援金は、2020年度1人、2021年度1人の実績。テレワークの方で34人、マッチングサイト経由で25人の計59人が長野県全体で活用されているようである。

【商業観光課関係】

- 中心市街地活性化事業850万8千円については、①商工会議所が実施するスクラッチカードを活用した商業活性化を目的としてお客様感謝事業への支援。②11月初旬にえびす講のようなイベント事業支援。③銀座通りを中心として活動している紙芝居プロジェクトが実施するイベントへの支援。④カレーイベントの店舗回遊連携事業への支援。⑤中心市街地で実施する妖怪市場というイベントへの支援を予定。

3) 福祉環境分科会関係

【文化スポーツ課関係】

- 伝統的建造物群保存地区保存活用事業は、新しく専門の係を設置し、特定物件のお宅の同意を得るため、一軒一軒伺っていきます。

【生活環境課】

○2050年ゼロカーボンの問題については、現在行っている事業を地道にしつかり実施していく。須坂市だけでは達成できるというものではなく、長野地域連携中枢都市圏でも宣言をしているので、連携しながら進めていきたい。

(5) 今定例会に上程された議案の顛末について

1) 事件決議 1件

議案第33号 須坂市子育て就労総合支援センターの指定管理者の指定に係る変更について

☑第1号は、委員長報告、質疑、討論ののち、一括して簡易採択を諮ったところ、議案は原案とおりの可決された。

2) 条例 16件

議案第2号 須坂市賑わい創出拠点やまじゅう条例の制定について

議案第3号 須坂市野外広告物条例の制定について

議案第4号 須坂市水資源保全条例の全部を改正する条例について

議案第5号 須坂市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第6号 須坂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第7号 須坂市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

議案第8号 須坂市長野県収入証紙及び郵便切手類等購買基金条例の一部を改正する条例について

議案第9号 須坂市手数料徴収条例の一部を改正する条例について

議案第10号 須坂市峰の原高原飲料水供給施設給水条例の一部を改正する条例について

議案第11号 須坂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

議案第12号 須坂市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について

議案第13号 須坂市景観をいかしたまちづくり条例の一部を改正する条例について

議案第14号 須坂市水道事業給水条例の一部を改正する条例について

議案第15号 須坂市用品調達基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例について

議案第32号 須坂市消防団員公務災害補償条例の一部を改正する条例について

☑第2号より第32号までの16件は、各常任委員会委員長から報告、質疑、討論ののち、一括して簡易採択を諮ったところ、各議案は何れも原案とおりの可決された。

3) 補正予算 8件

- 議案第16号 2020年度須坂市一般会計補正予算第11号
- 議案第17号 2020年度須坂市国民健康保険特別会計補正予算第4号
- 議案第18号 2020年度井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計補正予算第2号
- 議案第19号 2020年度須坂市介護保険特別会計補正予算第3号
- 議案第20号 2020年度須坂市後期高齢者医療特別会計補正予算第2号
- 議案第21号 2020年度須坂市水道事業会計補正予算第2号
- 議案第22号 2020年度須坂市下水道事業会計補正予算第2号
- 議案第23号 2020年度須坂市宅地造成事業会計補正予算第1号

☑第16号より第23号までの8件は、予算決算特別委員会委員長報告、質疑、討論ののち、一括して簡易採択を諮ったところ、各議案は何れも原案とおりに可決された。

4) 当初予算 8件

- 議案第24号 2022年度須坂市一般会計予算
 - ☑予算決算特別委員会委員長報告、質疑、討論ののち起立採択を諮ったところ、賛成多数でした可決された。
- 議案第25号 2022年度須坂市国民健康保険特別会計予算
- 議案第26号 2022年度井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計予算
- 議案第27号 2022年度須坂市介護保険特別会計予算
- 議案第28号 2022年度須坂市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第29号 2022年度須坂市水道事業会計予算
- 議案第30号 2022年度須坂市下水道事業会計予算
- 議案第31号 2022年度須坂市宅地造成事業会計予算

☑第25号より第31号までの7件は、予算決算特別委員会委員長報告、質疑、討論ののち、一括して簡易採択を諮ったところ、各議案は何れも原案とおりに可決された。

5) 閉会中の継続審査について（請願第1号）

☑総務文教委員長より申出の説明、質疑ののち議決を経て、討論ののち採択した結果、申出に同意。

6) 人事1件

- 同意第1号 固定資産評価審査委員会委員の選出について
 - 土地家屋調査士 田子淳一（須坂市大字塩川在住）氏を
 - ☑提案説明、質疑ののち議決を経て委員会付託を省略、討論ののち、採択した結果、上程とおりに同意した。

(6) 各委員会・特別委員会の開議について

1) 議会運営委員会

- 開議日時 令和4年3月4日
開議場所 議会第3委員会室
協議事項 ① 追加議案等について
② 発言取り消しの申出について
③ 「ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議書」の提案について
④ その他

2) 全員協議会

- 開議日時 令和4年3月4日
開議場所 議会第3委員会室
協議事項 ① 追加議案等について
② 発言取り消しの申出について
③ 「ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議書」の提案について
④ その他

3) 特別委員会

① 市議会議員選挙の課題等検討特別委員会

- 開議日時 令和4年3月4日
開議場所 議会第4委員会室
協議事項 I 最終報告に向けた検討
II その他

【自評】 思うに「議員の報酬並びに定数等の課題の検討を除き、他項目は現職の議員がそもそも特別委員会を立ち上げ、諸課題として検討することに疑義を感じてならない。委員会設置当初から「即刻当委員会を解散すべし」主張を繰り返して来ました。

民主主義の根幹は議員並びに首長が任期をもって政治に携わることであります。そもそも、市民の代表（議員）になってこの須坂市の市政に関わりを持ちたいとする、本人の意志が第一義ですが、市民の代表になるには、公職選挙法の資格要件をクリアして、市議選に立候補届出をなし、且つ投

票の結果、「当選という市民の洗礼」を受けなければ、市民の代表にはなれない厳粛な制度であることを自覚すべきです。

私が議長であったある日、市民のある年老いた女性が議長室を訪ねて来られ「私のお父さんは市議会議員になりたいと毎日言っています。私もお父さんが市議会議員になれたらと思っています。どうしたらお父さんが市議会議員になれるのか、その方法を教えてください。」との陳情？を受けたことがありました。私は丁寧に「選挙管理委員会に相談してみてください」と相談先を教えてあげ、お引き取りを願ったことがありました・・・

市議選挙は立候補届出から投票日まで僅か1週間です。この1週間の選挙運動で当選することなどまずありえません。新たに立候補を予定している者に向けて「出馬がし易い施策」を、現職議員があれこれ企てることなど、おこがましいことであり、提案者が「出馬がし易い施策」イコール即「当選」と捉えているならば、とんでもない誤解です。況や下駄を履かした選挙運動や当選などは、民主主義下の選挙の原則からして、あってはならない行為であります。これこそ現職議員の「衣の袖から鎧が見える」言動であり、かえって市民の不信を買うこととなりかねません。厳に慎むべき言動であると私は思います。

私はかつて、「市議会選挙の立候補届出締切時刻に、定員丁度若しくは、定員に満たない場合は『無投票当選』を許さず、敢えて投票を執行すべし」と発言しました。「投票の結果、最下位の得票者を『法に基づく看做し落選者』とし、強制的に定足数の『欠員』を生じさせ、欠員議席分は、他の国政、県政、市長選挙に合わせて市議補欠選挙を執行して補充することが、民主主義の選挙制度の護持に通じる」と提唱しましたが、賛成してくれる市議はいませんでした。

民主主義を支える選挙は、最も大切な民意（有権者）の負託を得た（選挙による当選者）ものでなければならぬ原点に立ち返るとき、『投票を経ない無投票当選は看做し当選制度』であり、即刻廃止すべきものと思います。

② インター周辺等開発特別委員会

開議日時 令和4年3月16日

開議場所 議会第4委員会室

協議事項 ① 事業の進捗状況について

② 副市長、まちづくり推進部長より報告を受けた後、質疑応答。

③ その他

4) 有志議員による自主学習会

日 時 令和4年3月6日午前9時から午後4時30分
開議場所 議会第3委員会室
参加会派 自民・公明クラブ、日本共産党、無所属クラブ
学習内容 ①3月議会に上程された、条例、補正予算、当初予算等について
各議案内容の焦点、予想される争点、新規・拡大事業等の取組
等についての検討・精査をしました。

日 時 令和4年3月15日午後1時から午後5時30分
開議場所 議会第3委員会室
参加会派 自民・公明クラブ、日本共産党、無所属クラブ
学習内容 ①3月議会に上程された、条例、補正予算、当初予算等について
各議案内容の委員会審査過程の報告と検討をしました。

5) 今定例会一般質問で、私が取り上げた諸課題

- ① ワクチン3回目接種等について
- ② 「まん延防止等重点措置」延長下における教育・保育の現場の取組について
- ③ 不妊に関する検査を県が助成独自事業を行うことについて
- ④ 県の子どもの医療費の「窓口無料化」について
- ⑤ 県は、引きこもりに全県的な支援策の充実に乗り出す方針について
- ⑥ 県の子どもの自殺対策の取り組む方針について
- ⑦ イオンモール須坂開業で中心市街地の商店街活性化が図れる可能性について
- ⑧ 信濃川水系の流域自治体が参加しての協議会を設立されたことについて
- ⑨ 大阪市の雑居ビル火災を受けて実施された建物の緊急点検について
- ⑩ 農林課・税務課所管関係の諸課題について

6) 今定例会の一般質問の総括

今定例会では13名の議員が一般質問を行いました。

☑ 各議員が取り上げた質問区分は、概ね以下のとおりです。

質 問 区 分	議員数	質 問 区 分	議員数
新型コロナ関係	6	イオン・インター周辺関係	4
行政一般	7	総務・財政・税務	4
消防・防災	5	情報公開・個人情報	1
福祉・生活環境	3	男女共同・人権	2
高齢者福祉	1	健康づくり・衛生・医療	3
教育一般	7	子ども・家庭	3
住宅・都市計画・公園	2	交通・道路河川	1
産業・経済・観光・商業	3	農業林業一般	2
中心市街地活性化課題等	2	デジタル（情報化）	4
重要伝統的建造物関係	1	上下水道	1

7) 【 2022 年 2 月・3 月議会に提出された資料一覧 】

整理番号	文 書 名	提出機関	配布日付
	2022 年 2 月 8 日市理事者との懇談会で提出		
20220201	2021 年度国補正予算 デジタル田園都市国家構 想推進交付まちづくり課あ一金（デジタル実装タ イプ 1）について	政策推進課	2/8
20220202	マイナンバーカード取得促進について	政策推進課	2/8
20220203	岡信孝コレクション 華園三題の購入	文化スポーツ	2/8
20220204	地方創生推進交付金 恋人の聖地	政策推進課	2/8
20220205	須坂市水資源保全条例改正骨子案	生活観光課	1/28
20220206	第 60 回東北信市議会正副委員長研修会名簿	須坂市議会	1/26
20220207	第 60 回東北信市議会正副委員長研修レジメ	須坂市議会	1/26
	2022 年 3 月議会に提出された資料		
	○経済建設委員会関係資料		
20220301	米子大瀑布総合的休憩所整備工事	商業観光課	3/8
20220302	須坂市新型コロナ中小企業等特別応援金（第 1 弾、第 2 弾）の上乗せ給付金について	産業連携課	3/7
20220303	須坂市屋外広告物条例のあらまし	まちづくり課	3/8
20220304	須坂市景観計画 概要版	まちづくり課	3/8
20220305	都計法第 34 条 11 号区域の見直しについて	まちづくり課	3/8
20220306	臥竜公園官民連携リノベーションによる活性化 事業に係るマーケットサウンディング調査	まちづくり課	3/8
20220307	イメージラスト	臥竜公園事務所	3/8
20220308	本郷町の水道断水事故について（報告）	水道局	3/8
20220309	新水道料金と減免	水道局	3/8
20220310	市臥竜公園マーケットサウンディング調査提案	公園管理事務所	3/8
	○総務文教委員会関係資料		
20220331	須坂市子育て就労総合支援センターに関する 2022 年度当初予算について	子ども課	3/9
20220332	地方税共通納税二次元コード対応業務について	税務課	3/9
20220333	再審法制（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求 める意見書（案）	総務文教委 員会	3/9
20220334	第 48 回部落差別をはじめあらゆる差別をなくす 市民大集会	人権同和教 育課	3/10
20220335	令和 3 年度子育て世帯への臨時当別給付	子ども課	3/10
20220336	墨坂中学校講師傷害事件概要	学校教育課	3/10
20220337	須坂市の子どもの学びのあり方について提言書	学校教育課	3/10
20220338	多様性がいきる須坂市の新たな学校（案）	学校教育課	3/10
20220339	須坂市政策アドバイザーの委嘱	政策推進課	3/9
20220340	デジタル化に関する外部人材の活用について	政策推進課	3/9
20220341	須坂市消防団等公務災害補償条例の一部を改正 する条例について	消防本部 総務課	3/10
	須坂市消防本部及び須坂市消防署に置く消防吏	消防本部	

20220342	員の階級を改正します	総務課	3/10
20220343	専決処分：市税条例及び都市計画材条例	税務課	3/10
20220344	2022年4月組織改正について	総務課	3/10
20220345	須坂市公共施設等総合管理計画	須坂市	3/10
20220346	須坂市公共施設等個別施設計画	須坂市	3/10
	福祉環境委員会関係資料		
20220360	須坂市平野部の水収支	生活環境課	3/14
20220361	須坂市水資源保全条例改正骨子案	生活環境課	1/28
20220362	北部運動広場人工芝キックオフイベント	文化スポーツ課	3/11
20220363	令和4.5県高齢者医療長野広域連合保険料率	健康づくり課	3/14
20220364	人権に関する市民意識調査の報告書（概要）	人権同和政策課	3/14
20220365	行政財産（二睦駐車場）の用途廃止について	人権同和政策課	3/14

【令和4年第2回須坂市議会臨時議会の顛末について】

令和4年第2回須坂市議会臨時議会は、3月25日招集され開会いたしました。上程された議案は、補正予算2件でした。

今臨時議会の会期日程は、3月25日の1日限りでした。

○令和4年第2回須坂市議会臨時議会上程された議案の顛末

議案第35号 2021年度須坂市一般会計補正予算第12号
〔歳入歳出それぞれ3億3,161万7千円を追加する〕

議案第36号 2022年度須坂市一般会計補正予算第1号
〔歳入歳出それぞれ2億8,787万7千円を追加する〕

第35号、第36号の2件は、予算決算特別委員会委員長報告、質疑、討論ののち、一括して簡易採択を諮ったところ、各議案は何れも原案とおりの可決された。

◎【2022年3月・第2回臨時議会に提出された資料一覧】

整理番号	文 書 名	提出機関	配布日付
2022臨380	公会堂インターネット整備事業補助金	市民課	3/25
2022臨381	エアーストレッチャー	総務課	3/25
2022臨382	内部事務システム導入について	総務課	3/25
2022臨383	キャッシュレス決済窓口導入	総務課	3/25
2022臨384	コンビニ交付対応キオクス端末機	市民課	3/25

○2021 年度須坂市一般会計補正予算第 12 号の主だった内容について

200 万円以上を表示（△は減額、単位は千円）

事業名・主な内容と理由	補 正 額	担当課
商業振興事業：第 6 波の影響を受けた中小企業者・個人事業者への特別応援支援金の支給	8,870 万	産業連携開発課
信州須坂ふるさと応援寄附金事業： 信州ふるさと応援基金への積立金を増額	1 億 5,000 万	政策推進課
一般管理事務：退職者の増により、フルタイム会計年度任用職員退職手当の増額	283 万 8	総務課
財産管理事業： 特別交付税の確定による財政調整基金へ積立	8,125 万 8	財政課
早期退職者の増により退職手当を増額	784 万 4	総務課

○2022 年度須坂市一般会計補正予算第 1 号の主だった内容について。

200 万円以上を表示（△は減額、単位は千円）

事業名・主な内容と理由	補 正 額	担当課
まいさぼ須坂の相談コーナーの修繕	237 万 0	福祉課
民営児童クラブの感染防止対策に伴う改修等	380 万 0	学校教育課
南部・北部・東部児童センターにエアコン等の設置	962 万 1	学校教育課
小中学生の自然体験学習を実施する	615 万 7	学校教育課
スクールサポートスタッフを、豊洲・高甫・豊丘小に配置	377 万 5	学校教育課
児童用デジタル教科書の整備	1,140 万 6	学校教育課
特別支援教室等のインターネット整備等	717 万 1	学校教育課
中学生徒用デジタル教科書の整備	714 万 2	学校教育課
中学生の授業のオンラインを実施するため	915 万 3	学校教育課
笠鉾会館の Wi-fi 環境整備	204 万 4	文化スポーツ課
感染防止に係る緊急資機材の整備外	863 万 3	消防本部
コロナ禍におけるタクシー業者等への支援金	279 万 5	市民課
農業者が負担する保険料の一部を助成する	400 万 0	農林課
利用者が可能な店舗限定商品券事業の実施	1 億 6200 万 0	商業観光課
観光マップシステムの構築で観光客の入込を図る	200 万 0	商業観光課
行政事務の効率化・環境整備のため OA システムを整備	780 万 4	総務課
OA 機器を整備しデジタル化を促進する	863 万 2	政策推進課
庁舎内にコンビニ交付対応キオスク端末を整備	993 万 1	市民課
公会堂のインターネット環境整備補助金	690 万 0	市民課

○須坂市議会、議長の不信任決議の可決について

須坂市議会議員 佐藤 壽三郎

須坂市議会（定数 20、欠員 1）は、25 日の臨時会で、塩崎貞夫議長の不信任決議案を 2 人の議員（石合敬議員、水越正和議員）が提出し、賛成多数で可決された。

表決の分かれは予想された票数で現れた。この表決に法的な拘束力はないが、採決における議長忌避は当然乍ら、議事進行の副議長まで不信任表の採決に表決権がないことは疑義を感じてならない。以下、小職の私見を述べさせていただきます。

議長不信任決議の申出書の全文は、以下のとおりです。

議長不信任議決

この度、全員協議会で、私が 1 人会派のあり方問題に関し、私自身も 1 人会派になってまで提案しましたが、議長は、この問題の根本的な解決をしようともせず、安易に自信を含めての 3 つの 1 人会派をひとまとめにし、問題が解決したかの様にしているのは全く議長の役目を果たしていない。

議長は中立公平に徹し、議会の代表として議会の権威と地域の向上、住民ニーズの実現のために職務を遂行する義務がある。いやしくも支持した議員やそうでない議員を区別するような言動をしてはならず、その疑いをかけられるようであってはならない。

議長が議長選立候補にあたっての所信表明では、この様に訴えておりました。

『私は議長立候補にあたり、市民の声はもとより、議員各位の声にしっかり耳を傾け、公平公正を旨として、どの会派にも属さず、市民のために尽くす姿勢を崩さず、自ら厳しく律してまいります。』

と表明したにもかかわらず、自ら会派を結成するのは、(明らかな公約違反であり、) いかがなものか。

また、議長選以来、議会が分裂状態になっているにも関わらず、一向に議会をまとめようもしない。

よってここに議長不信任決議案を提出いたします。

2022年3月25日

提出者 須坂市議会議員 石合 敬

〃 水越 正和

※下線部分は、小職が文章を引用するために引いたものです。

さて、議長の不信任決議の申立自体は、法に依って保障されている制度である以上、この動議の発言については聊かも異議はない。然し議長の不信任の理由に正当性・妥当性があるかどうか、提案者に事実誤認が有りや無しやを、我々市政を与る議員として、慎重に理由を咀嚼しなければならない。何故なら、議長不信任の理由が、安直に且つ独善的思考の下で且つ事実を反した内容であった場合は、議長の名誉が著しく傷つけられるからである。この場合には、提出者らは権利の濫用として、それなりの責任が

求められることは、当然と言えるからである。

以下、提出された議長不信任の理由を検討してみるに

1. 議長が議長選立候補にあたっての所信表明の件について

塩崎貞夫議員（会派：志政会）が、市議会議長選挙に出馬するにあたって、「どの会派にも属さずとも（一人会派の儘でいても支持をしてくれますか?）」と、彼は支援をしてくれる会派：自民・公明クラブ（代表者堀内章一議員）、会派：日本共産党（代表者竹内勉議員）、無所属クラブ（代表者佐藤壽三郎議員）、須坂市民クラブ（代表者宮坂成一議員）の全議員に承諾を請いました。このことについて 4 会派の全議員 9 名が快くこれを承諾しました。この承諾を得た後に、塩崎貞夫議員は議長選立候補に臨む所信表明がなされたものであります。

議長選投票の前に開かれた、全員協議会での所信表明の演説で「どの会派にも属さず」と発言しているのではないかとの指摘であるが、これこそが、4 会派の 9 議員の前で述べた所信証明と同一内容であることに意義があります。これは将に会派自民・公明クラブ、日本共産党、須坂市民クラブそして無所属クラブにとっては、候補者の「踏み絵」として要求したものであります。この発言これこそが 4 会派の 9 議員に対する公約であって、塩崎貞夫議長候補者に 1 票を投じる確固たる動機であったと言えます。

このことについて、「公約としてその羈束性を問う」ことが出来るのは、彼を支持した会派である自民・公明クラブ外 4 会派の議員たちであり、塩崎貞夫候補者を議長として不適格とした本件提出者らが、殊更に所信表明の言葉尻を捉えて、羈束性を取り沙汰することは、的外れの論法で言いがかりにしか思えません。

2. 議長が『市民の声はもとより、議員各位の声にしっかり耳を傾け、公平公正を旨として』の職務執行の件について

塩崎貞夫議員は、議長に就任されてから今日まで、市議会議長として「市民の声はもとより、議員各位の声にしっかり耳を傾け、公平公正を旨」として努められ、議会のルールとおりに議会運営委員会に諮っての職務執行に当たられていることは当然とは言え、何ら強権的、独善的行為は見受けられない。小職の手元にも寄せられる市民の方々からも、極めて評判の良い議長であられる。

市民に広報するための市議会の機関紙「須坂市議会です」（第 165 号）に、塩崎貞夫議長が「議長就任あいさつ」が掲載されているが、文中「どの会派にも属さず」の件は見受けられない。議長は会派の縛りを越えた議会運営をするにあたり「公平公正」を旨とすることは当然のことであり、国政と異なり政党政治を布いていない地方自治、況や地方議会においては、当然の「議長の心得」ではないか。このことは塩崎貞夫議員を推した 4 会派の全議員のみならず、大多数の議員も承知しているものである。

3. 1 人会派について

不信任決議の申立理由に、石合議員は「一人会派のあり方」について取り上げて

いるが、過去においても石合議員は一人会派について執拗に問題提起をしてきているが、**何れも彼の発言は心裡留保**ではないかと、疑いたくなる論法が窺われてならない。

彼は初当選時に一人会派を主張された。当時小職は議長であったが、議会規則では一人会派は認めていなかった。議長としては、「地方自治体は首長と議会が対峙する二元代表制である以上、地方議会は「議院内閣制」ではないことから、個々の議員の独立性を重んじるべきと考え、選挙に当選した議員活動の保障からして、一人会派を認めてよい」と議会運営委員会を説得しましたが、当時の議会内の空気は固く拒否でありました。

小職らの執拗な説得で、議会運営委員会に例外的に認めて頂いたが、会派室の割り振りで問題を投げられ、小職として苦肉の策として議員応接室を一人会派室としましたが、複数の会派より異議が出され、応接室を本来の機能に戻さざるをえなくなり、議会の中立的施設の図書室を一人会派の部屋として確保した経緯があります。

その後も一人会派は議会運営委員会では容認されずにいましたが、当時の自由クラブ（佐藤壽三郎外 1 名）と無所属クラブ（北沢雄一議員外 1 名）とで、一人会派を容認すべく議会運営委員会で繰り返し発言をした経緯がある。その甲斐があって、平成 28 年 1 月 26 日の議会運営委員会で、漸く一人会派設立の存在が認められ、平成 29 年 1 月 13 日に「一人会派の取扱いについて」が議会運営委員会で決定されました（1 人会派の取扱い要領について。後記・資料 1 ご参照）。

然し乍ら、過去に自由クラブと無所属クラブが尽力して、一人会派の実現に尽力したにも拘わらず、一人会派設立にこだわって要求をしていたはずの石合議員が、一向に所属会派から離脱して、一人会派を設立をしないことに、彼の繰り返しの 1 人会派発言は、矢張り心裡留保なのかと感じていました。

漸く令和 4 年 3 月に一人会派を立ち上げられたが、あれほど必要に一人会派を唱えた割には、歳月を要したように感じてなりません。

4. 「1 人会派の取扱い」について

令和 4 年 3 月 16 日開議の議会運営委員会で（後記資料 1 をご参照）、一人会派設立の要領 8 項目のうち 7 項目の再確認をし、8 項目目の会派の広さ（専有面積）についての問題点は、仮に「石合議員が一人会派として届出があった時点」で、協議することで議会運営委員会は閉会した経緯があります。

このことからしても、仮に提唱者らが「議長の緩慢な処理」として問うならば、寧ろ議会運営委員会委員長の議事運営に関わる「議会運営委員長の解任決議」が取り沙汰されてしかるべきであり、併せて、その開議に同席していた水越正和議会運営委員を含め、議会運営委員会委員全員が問われて然るべきものと思料する。この意味からして議長不信任議決は不当であり。提唱者水越正和議員は提出者適格に欠ける者であると言わざるを得ません。

石合議員は 3 月 25 日の然も臨時議会において、「議長の不信任決議」を求める動議を出しましたが、不信任議決の訴因に、「1 人会派のあり方問題」を訴因の主要な事柄として捉えられておりますが、提唱者として 3 月 16 日開議の議会運営委員会議事録を十分に熟読されるべきと思います。議会は石合議員が希望する「一人会派」

を容認すべしと擁護し続けた当時の議長の小職としては、「隗より始めよ」を肝に銘じ、一人会派確立のために今日まで一人会派の孤高保ってきたことを、冷静に受け止めて欲しいものです。

5. 「自ら会派を結成する」件について

石合議員が一人会派を立ち上げるのと並行して、宮坂成一議員、塩崎貞夫議員と佐藤壽三郎議員の3議員が「一人会派の解消をして集結する」にあたってのけじめとして、会派自民・公明クラブの5名の議員と会派日本共産党の2名の全議員に参集を願うその場で、「この度、一人会派を解消したい。手続的には無所属クラブに編入の形をとりたい。ついては私が議長選に出るにあたり、皆さんに『どの会派にも属さず』と約束したことについて、宮坂議員と塩崎議員が無所属クラブに編入して会派を構成したいことに同意を頂きたい」と発言し、一同の同意を得たものであります。

そもそも憲法第21条の結社の自由の保障は、二つの意味の内容を有していると言われる。即ち、

- ① 人が団体即ち会派を結成し若しくは結成しないこと（一人会派）。団体に加入し若しくは加入しないこと。団体の構成員としてとどまり、もしくは退会することについて、公権力による干渉を受けないこと。
- ② ② 団体が団体としての意思を形成し、その意思実現のための諸活動について、公権力の干渉を受けないこととされるが【憲法I第2版 東京リーガルマインド編著 399頁】、

この定義については、将に小職が議会運営委員会や全員協議会で折あるごとに発言している内容そのものである。

故に「自ら会派を結成する」件については、市議会議員として、須坂市民のため、郷里須坂市のための議員活動を全うするために、憲法で保障されている結社の自由の選択と判断に伴う権利の行使であり、他会派から干渉される筋合いのものでない。亦、個々の議員であっても、他会派への集合や離散について干渉は慎まなくてはならない。

6. 「議長選以来、議会が分裂状態になっている」件について

冒頭に記したとおおり、決議におけるこの表決について、議長はさて置き、議長代行議員（副議長）まで不信任の採決に関して表決権がないことに疑義を感じてならない。表決の結果は不信任賛成9人、信任8人の結果が、提案者らが唱える将に「議長選以来、議会が分裂状態になっている」表現で言い尽くされている。

即ち、市議会議長選における開票結果は、塩崎貞夫議員10票、石合敬議員9票であったが、今回の表決に塩崎議長自身、並びに議事進行を務める副議長は表決に参加できない事情から、塩崎貞夫議長信任票は8票であった。この度の「議長不信の申立は理不尽な暴挙」だと考えれば、圧倒的に議長不信任は否決された筈であるが、結果は議員9人が不信任に投じた事実である。このこと自体が提出者らが、「議会の分裂状態を維持しているのは我々だ」と自ら自認している証左ではないか。真摯な自省を促したい。

7. むすび

議長に対する不信任議決の申出の訴因として、是認できる項目は

- ① 議長の非民主的な議事運営。
 - ② 対立案件の取扱いをめぐる与野党間の感情的対立抗争。
 - ③ 議長個人の議会における言動。
 - ④ 議長としあてあるまじき行為があった。
- 等である。(地方議会運営辞典 196 頁ご参照)

議長不信任議決を求める動議の提出時には、具体的な内容は不要としても、動議が成立した後に、採決において、**提出者**らから示された訴因は冒頭に示した内容であるが、前記の申出の訴因の主なる①から④の何れも該当しないと思料する。

殊更に提出者らは、②を誇張しての大義名分の公正・公明を装っての記述であるが、彼らの日頃の言動の端緒からしても、惜しいかな私恨・怨恨を綴った内容でしかない。

冒頭で記したように、不信任議決を問う手続において、議長の表決権無しは当然であり理解するが、議長に代わって議長不信任の議事の進行を務める副議長まで、表決権が無いということは理解できない。何故なら議長に代わって議長不信任の表決進行を務める副議長は、副議長不信任議決の申出が出されていないからである。

議員定数 20 名、欠員 1 名の現在の須坂市議会議員は 19 名である。今回の議長選におけるの投票結果は、塩崎貞夫議員 10 票、石合敬議員 9 票であった。議長不信任議決の表決では塩崎貞夫議長支持議員は表決前から 8 名に手続の名分で差し引かれ 8 票でしかない。不合理な不信任議決の結果を讀んでの、議長不信任議決の申立は、議会運営に求められる要件を事実誤認し、余りにも稚拙な内容であり、徒に正当な理由もなく市議会議長を誹謗中傷し、議会運営を故意に破綻させるだけの騒動ではないか。これは権利の濫用であって看過できない議長不信任議決と言える。

而して、本議長不信任議決は否決されるべきものであり、議長不信任議決に「反対」する。

【資料 1】 1 人会派の取扱いについて

(議運決定事項 H29.1.13)

No.	項目	会派	1 人会派
1	会派代表者会議	代表者が出席	出席を認める
2	常任委員会	会派より選出	認める
3	議会運営委員会 (定数 10 人以内)	会派より選出 5 人以上会派 2 人 5 人未満会派 1 人	1 人会派一つでは選出できない (1 人会派 2 つ以上の集合体で 1 人)
4	広報特別委員会 (定数 8 人以内)	会派より選出	1 人会派一つでは選出できない (1 人会派 2 つ以上の集合体で 1 人)
5	代表質問 (3 月定例会)	代表者 1 人 30 分以内	なし (一般質問の中で行う)

6	総括質疑 (9月定例会)	10分(会派持ち分) +5分×会派議員人数代表 者1人、	なし(一般質問の中で 行う)
7	政務活動費	支給	支給(広報費、広聴費を除 く)
8	会派室	会派ごとにあり	検討課題

※政党の有無にかかわらず1人会派をみとめる(H28.1.26 議運決定事項)

2. 【令和4年須坂市の人事】

【部長級】**議会事務局長** 牧章一▽**総務部長** 中島久▽**市民環境部長** 田中賢一▽**社会共創部長** 滝沢永造▽**まちづくり推進部長** 滝沢秀芳▽**会計管理者** 山岸一延▽**水道局長** 滝沢学▽**消防長** 松沢宏樹▽**生活環境課長** 荒井一樹 4/1

【退職】永年に亘り、須坂市政のため、市民のために尽くされたことに
深甚なる感謝を申し上げます。ご苦労様でした

西原孝一(議会事務局長) 上原祥弘(総務部長) 青木一浩(市民環境部長) 小林宇彦
(社会共創部長) 滝沢健一(まちづくり推進部長兼土地開発公社事務局長) 藤沢隆(会
計管理者兼会計課長) 永井毅(水道局長兼営業課長) 飯塚俊樹(消防長) 勝山修吉(生
活環境課長) 木原奉文(農林課森林・鳥獣害対策担当課長兼耕地・林務係長) 田尻俊
幸(消防本部消防次長兼総務課長) 牧宏(男女共同参画課長) 岩崎邦男(消防本部警
防課長兼警防係長) 西沢悦郎(消防署長) の各氏 3/31

3. 【読本備忘録】

- 日本行政 NO. 593 日本行政書士連合会
- 行政書士 NAGANO 長野県行政書士会
- 漢詩をよむ 佐藤正光著 NHKテキスト
- 地方税の仕組み 柏木恵著 学陽書房
- 地方財政 小西砂千夫著 学陽書房
- 業者研修テキスト (公社) 長野県宅地建物取引業協会
- 市町村財政分析 大和田一紘共著 自治体研究社
- 民法改正Q&A 弁護士法人中央総合法律事務所
- あげぼの 長野県同和教育推進協議会
- 2022年の論点 文藝春秋オピニオン 文藝春秋社
- 時事用語 新星出版社
- 業界地図 2022年度版 日本経済新聞出版

◎令和元年台風第19号に関する県内の報道等備忘録(令和4年3月分)

- 3年前の台風19号で浸水 長野市の下水処理施設が全面復旧へ
N長野 3/29

◎新型肺炎に関する県内の対応状況の報道等備忘録（令和4年3月分）

- 新たに329人、須坂市5人感染 県内累計3万1313人 3/1
- 「まん延防止措置」長野県 今月6日で解除するよう国に要請 3/2
- 新型コロナ 5歳から11歳の子どもへのワクチン接種始まる 3/2
- 2人死亡 445人、須坂市8人感染 県内累計3万1758人 3/2
- 新たに365人、須坂市23人感染 県内累計3万2123人 3/3
- 死亡2人 新たに358人、須坂市11人感染 県内累計 3/4
- 新たに373人、須坂市20人感染 県内累計3万2854人 3/5
- 新たに335人 須坂市5人 県内累計3万3189人 3/6
- 県内5人死亡。新たに222人 須坂市4人感染 県内累計3万3411人 3/7
- 新たに314人、須坂市人感染 県内累計3万3725人 3/8
- 新たに447人、須坂市9人感染確認 県内累計3万4172人 3/9
- 県内新型コロナ 県内感染者からオミクロン株「BA.2」初確認 3/10
- 新たに429人、須坂市8人感染 県内累計3万4601人 3/10
- 新たに392人、須坂市4人感染 3日連続で1週間前を上回る 3/11
- 新たに389人、須坂市3人感染 5日連続300人超 3/12
- 新たに335人、須坂市3人感染 県内累計3万5717人 3/13
- 新たに260人、須坂市3人感染 3/14
- 新たに455人、須坂市6人感染 3/15
- 新たに542人、須坂市15人感染 県内累計3万6974人 3/16
- 新たに486人、須坂市4人感染 3/17
- 1人死亡、新たに537人、須坂市8人感染 3/18
- ワクチン3回目接種率 長野県内36%に 3/19
- 新たに476人、須坂市10人感染 3/19
- 新たに446人 須坂市13人感染 県内累計3万8919人 3/20
- 1人死亡、新たに339人、須坂市8人感染 3/21
- 新たに302人、須坂市7人感染 1週間の新規感染者数が2週連続増加 3/22
- 新たに553人、須坂市11人感染 累計4万人超 3/23
- 新たに478人、須坂市16人感染 県内累計4万591人 3/24
- 県内1人死亡、新たに516人、須坂市11人感染、 3/25
- 新たに500人、須坂市10人 感染 先週土曜日より24人増加 3/26
- 新たに379人、須坂市7人 感染 県内累計4万1986人 3/27
- 6人死亡、新たに344人、須坂市8人感染 3/28
- コロナ警戒レベルの仕組み改正 全県向けを廃止 日経 3/29
- 新たに477人、須坂市10人感染 前週比175人増 3/29
- 新たに581人、須坂市14人感染 3日連続前週同曜日上回る 3/30
- 新たに603人、須坂市19人感染 県内累計4万3991人 3/31

【感染情報元：NHK長野、信濃毎日新聞、朝日新聞、日本経済新聞】

◎注目した政・経・社会の報道備忘録（令和4年3月分）

- 県内の刑法犯件数が減少 統計取り始めてから最少に N長野 3/1
- 特養老人ホームに行政処分 投票干渉で当時の理事長など罰金刑 N長野 3/1
- 1月の有効求人倍率、長野は下げ 日経 3/4
- 江戸から平成までおひな様ずらり 3千体 須坂でひなめぐり 朝日 3/4
- 県内の景気 4か月連続で判断据え置き 日銀松本支店 N長野、信毎 3/7
- 1月の有効求人倍率変わらず ウクライナ侵攻の影響懸念も 長野労働局
N長野、信毎 3/8
- ガソリン価格値上がり 182.6円/ℓ ウクライナ侵攻影響 N長野、信毎 3/9
- 長野信金、オンライン商談会を県内全信金と合同開催 日経 8/9
- コロナ禍で深刻な電話相談増も ボランティア不足し活動に影響 N長野 3/10
- エプソン、ロシア・ベラルーシとの取引停止 「人権尊重の立場から」 信毎 3/10
- アスザックフーズ、水を注いで混ぜるとできる大根おろし発売 信毎 3/10
- ジビエを気軽に シカ肉メンチカツ入りのカレー 長野市役所食堂に 朝日 3/10
- 長野県議 10人がコロナ感染、委員会の中止が続く「異例」の事態に 朝日 3/10
- 松本市が障害者支援の事業所に約680万円請求 給付金不正か N長野 3/11
- 千曲市の90代女性 うその電話で250万円詐取される被害 N長野 3/11
- 長野県犯罪被害者等支援条例案 県会委可決 15日成立の見通し 信毎 3/11
- 気候変動 国連の報告書 竹の分布に関する長野県環境保全研の論文引用
信毎 3/11
- 賃金改善見込み 59.9% 22年度の長野県内企業4年ぶりに増加 信毎 3/11
- 長野県内大型小売店 売上高 3.3%増加 1月食料品全般が堅調【長野経済研究所】
信毎 3/11
- 長野県勤労統計 給与総額3年ぶり増 21年平均 月33万5883円 信毎 3/11
- 東京農大とJA中野市など、特産のキノコ活用で包括協定 日経 3/11
- 北信越のBCP策定率、長野県は16年以降、消防庁などと共同で各市町村の防災担当職員向けの研修会を開催 日経 3/11
- 長野県内景況感、1~3月期 マイナス11.6 全産業13.7ポイント低下【長野財務事務所】
信毎、日経 3/12
- 長野県の大型小売店売上高、1月は3%増 民間調べ 日経 3/15
- マルイチ産商、御柱祭記念商品をメーカーと共同企画 日経 3/15
- 長野県会議長に丸山栄一氏 副議長に高島氏、監査委員に佐々木氏 信毎 3/17
- 「夫婦別姓認めるべき」半数が回答 県民の世論調査 N長野 3/18
- 須坂市人事 ▽議会事務局長 牧章一氏 ▽総務部長 中島久氏 信毎 3/19
- 参院選 松山三四六氏が自民からの立候補表明 N長野 3/21
- 「法人企業景気予測調査」の景気指数 3期ぶりにマイナス N長野 3/22
- 地価公示 県内の土地価格 下落が続くも率は縮小 N長野、日経 3/22
- SDGs 体験型の修学旅行等に補助 長野県 日経 3/23

- 猫グッズ専門ブランドを立ち上げ クリエイティブヨーコ 日経 3/23
- 須坂市動物園代表選挙 シロフクロウが当選「動物園の顔」に N長野 3/23
- 里親の児童虐待、被害者4人に 県検証委「連携・情報共有が不十分」朝日 3/23
- 長野県内の企業、正社員「不足」53.8% 1月時点 信毎 3/24
- アスザックフーズ、こんにやく菓子シリーズに「えび塩味」 信毎 3/24
- 県内のガソリン価格 181.4円/ℓ 12週ぶりの値下がり N長野 3/24
- 大町市がゼロカーボンシティ宣言 2050年までに実質ゼロへ N長野 3/24
- 長野県庁舎にEV充電器設置 県内普及を加速 日経 3/24
- エプソン、東京に新ショールーム 法人向け充実 日経 3/24
- バスの貨客混載、長野で活発 上田市や松本市など 日経 3/24
- 長野の製造業、研究開発人員「不足」が59% 県調査 日経 3/25
- マルイチ産商、純利益51%減に下方修正 22年3月期 日経 3/25
- 信州ハム、長野県産食材を使った総菜を発売 日経 3/25
- 須坂市などで震度1 N長野 3/26
- 長野県工業技術動向調査 5年後関わり強めたい産業「自動車・二輪車」トップ 信毎 3/26
- 大吟醸香るサケアイス 高木酒店、御開帳土産需要見込み遠藤酒造場と協力 信毎 3/26
- 須坂市議会、議長の不信任決議を可決 信毎 3/26
- 上田市長選 土屋陽一氏が再選 井上晴樹氏に6147票差 信毎 3/27
- 長野のご開帳と御柱祭、高まる期待と不安 日経 3/28
- 長野の観光復活なるか 行事契機に新たな商品やサービス 日経 3/29
- 3年前の台風19号で浸水 長野市の下水処理施設が全面復旧へ N長野 3/29
- 上田市の70代女性が650万円余被害 特殊詐欺事件で捜査 N長野 3/29
- 特殊詐欺「電話でお金詐欺」に名称変更 効果的な啓発へ N長野 3/29
- 中央タクシー、羽田空港の国際利用者向け乗合タクシーを再開 信毎 3/29
- 2月の有効求人倍率1.55倍 2か月ぶりに増加 N長野、日経、信毎 3/30
- 長野県、職員の副業積極化へ 許可対象を明確化 日経 3/30
- ガソリン価格 180.2円/ℓ 2週連続で値下がり N長野、信毎 3/30
- 信州大の新学部 3年後に設置の計画 国から認可 N長野 3/30
- 鈴木養蜂場(須坂市)、スティックタイプの信州産蜂蜜を発売 信毎 3/30
- 長野市少年科学センター閉館 36年の歴史に幕 NHK長野 3/31
- 4月1日から成人年齢引き下げ 改正民法施行で N長野 3/31
- 八十二銀行などSDGs配慮型融資 ホクトに70億円 日経 3/31

※略号解 N長野：NHK長野 信毎：信濃毎日新聞、日経：日本経済新聞、朝日：朝日新聞

■□■□■□■□ 発行日 令和4年(2022年)3月7日

令和4年3月7日初版
 令和4年3月11日追補
 令和4年4月1日追補

編集：発行人 須坂市議会議員 佐藤 壽三郎

zyusaburo.com/ 佐藤壽三郎ホームページ
zyusaburo.blog.fc2.com/ 【終生書生気質】ブログ・千曲のかなた